

館長ゼミ

佐伯一麦とエッセイを読む、書く

仙台文学館ゼミナール2026

朗読ワークショップ

仙台文学館ゼミナール2026

小池光短歌講座

! 重要なお知らせ

2026年8月末より仙台文学館は大規模改修工事を行うため休館します。
9月以降の会場は日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)になります。

交通案内



〈仙台文学館〉

バス利用の場合

- 宮城交通バス 仙台駅西口バスプール2~4, 6番乗り場
仙台北・泉地区方面行(北山トンネル経由を除く)
 - 市営バス 仙台駅西口バスプール6番乗り場 八乙女駅行
- ※いずれも「北根二丁目・文学館前」下車

地下鉄利用の場合

南北線「台原駅」下車、徒歩25分(台原森林公園内あかまつの道経由)

P 駐車場40台(無料)

台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

2026年9月以降の講座会場

〈日立システムズホール仙台〉

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5

地下鉄利用の場合

南北線「旭ヶ丘駅」下車、東1番出口より徒歩3分

バス利用の場合

市営バス バス停「旭ヶ丘駅」より徒歩2分

P

駐車場92台(有料 1時間まで100円、以後30分毎50円)

台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

申込み・問合せ先



仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1

TEL 022-271-3020

HP <https://www.sendai-lit.jp/>

※このチラシは「雑がみ」としてリサイクルできます。

佐伯一麦とエッセイを読む、書く [全4回]

小説家で仙台文学館館長の佐伯一麦が進行役となり、参加者が互いの作品を合評しながら、エッセイを「読む」「書く」楽しみ、学びを深めていくゼミです。

ゼミの流れ ※A・Bコース共通

- 1回目から3回目まで(Bコースの1回目は除く)、各回テーマを出しますので、それに応じたエッセイ作品(1,200字程度)を執筆し、期限までに提出してください。
- 2ゼミの約1週間前までに、提出された全作品のコピーを送付します。ゼミ当日までにお読みください。
- 3ゼミでは、印象に残った作品について感想・意見を述べていただきます。佐伯館長からもコメントします。
- 44回目は、A・B両コース合同の合評会となります。

注意事項 ●文章の添削、書き方講座ではありません。 ●合評形式となりますので、発言していただく時間があります。
●作品の提出は必須です。また、ゼミには毎回ご出席ください。

日程

◎Aコース 対象:当ゼミにこれまで1～2回参加したことのある方
2026年6月7日／9月13日／11月15日／2027年1月31日

◎Bコース 対象:当ゼミに今回初めて参加する方
2026年7月5日／10月18日／12月20日／2027年1月31日
各回日曜日・全4回

時間

13:30～16:00(予定)

定員

両コースとも各15人(抽選) ※全4回参加できる方が対象です。

参加費

全4回分 4,000円 ※初回に一括でお支払いください。いったんお支払いいただいた参加費は払い戻しいたしません。
※別途、作品郵送用レターパック代をお預かりします。詳細は返信はがきでご連絡します。

会場

初回 仙台文学館 講習室

2回目以降 日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター) 研修室

申し込み方法

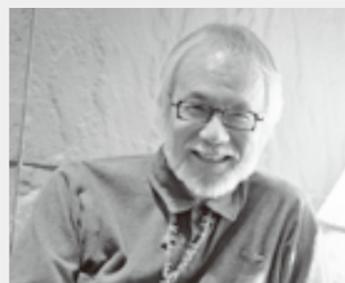
往復はがきに、講座名、希望コース(AコースまたはBコース)、住所、氏名、電話番号を記入の上、仙台文学館へお送りください。
はがき1枚につき1人まで、申込み多数の場合は抽選となります。

申し込み締切

4月10日(金)必着

講師

さえき かずみ
佐伯 一麦 小説家・仙台文学館館長



1959年仙台市生まれ。おもな小説に『鉄塔家族』(大佛次郎賞)、『ノルゲ』(野間文芸賞)、『還れぬ家』(毎日芸術賞)、『渡良瀬』(伊藤整文学賞)、『山海記』(芸術選奨文部科学大臣賞)、『アスベストス』、『ミチノオク』、エッセイ集『月を見あげて』、『Nさんの机で』、小川洋子氏との共著『川端康成の話をしようじゃないか』など著作多数。

朗読ワークショップ [全5回]

声で伝える「朗読」への関心が高まっています。その魅力のひとつは語り手と聞き手の間に共鳴が起こること、それは何よりの喜びとなるのではないのでしょうか。

この講座では、共鳴を生み出す大本となる「伝わる朗読」を目指し、基本を大切に実践を行います。

日程

2026年5月3日／5月10日／5月31日／6月14日／6月21日
各回日曜日・全5回

時間

午前の部:10:30～12:30 午後の部:14:00～16:00
※午前・午後ともに同じ内容です。必ずどちらかを明記の上ご応募ください。

定員

午前・午後ともに各30人(抽選) ※全5回参加できる方が対象です。

参加費

1回 1,000円 会場 仙台文学館 講習室

申し込み方法

往復はがきに、講座名、希望の時間(午前または午後)、住所、氏名、電話番号を記入の上、仙台文学館へお送りください。はがき1枚につき1人まで、申込み多数の場合は抽選となります。

申し込み締切

4月14日(火)必着

講師

わたなべ しょうこ
渡辺 祥子 フリーアナウンサー・朗読家



1991年フリーアナウンサーとして独立。アナウンス業と共に、98年より朗読や語りと音楽を融合させた舞台公演を開始。様々な文学作品、詩や童話など幅広いジャンルの朗読、宮城ゆかりの人物や作品にスポットをあてたオリジナル作品の制作にも取り組む。詩画家・星野富弘氏の作品を朗読したCD『Brilliant Life～いのちの輝き～』(グロリア・アーツ)、エッセイ集『困難を希望に変える力～3.11 10年後のことづて～』(3.11を語りつぐ会)など。現在、情報誌『りらく』編集長も務める。

各講座への申し込みについて

- 締切は必着です。余裕をもってお申込みください。
- 「佐伯一麦とエッセイを読む、書く」「朗読ワークショップ」のカリキュラムは、全回参加して1講座が終了するように組んでありますので、基本的に、毎回ご参加ください。
- 申込みが定員を超える場合は抽選となります。
- 返信は締切後にお送りします。(先着順ではありません)
- 中止・延期となる可能性があります。最新情報はホームページ等でご確認ください。
- お寄せいただいた個人情報は講座に関するご連絡以外には使用しません。

小池光短歌講座

歌人・小池光が、三十一文字に込められたことばの魅力について解説します。参加者の方には、毎回事前に課題作品を一首提出していただき、それらの作品をもとに講評を行います。

※連続講座ではありません。希望する回ごとに、毎回申込みください。

日程

2026年

第181回 5月9日(土) 締切 4月14日(火)

第182回 6月6日(土) 締切 5月12日(火)

第183回 7月4日(土) 締切 6月9日(火)

第184回 9月5日(土) 締切 8月4日(火)

第185回 11月7日(土) 締切 9月30日(水)

第186回 12月5日(土) 締切 11月10日(火)

2027年

第187回 1月9日(土) 締切 12月8日(火)

第188回 2月6日(土) 締切 1月12日(火)

第189回 3月6日(土) 締切 2月9日(火)

※最新の情報はホームページ等でご確認ください。

会場・時間

第181～183回 (5月～7月)

仙台文学館 講習室 13:30～15:40

第184～189回 (9月、11月～3月)

日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)
研修室・エッグホール 14:00～16:00

定員

〈5月～7月〉……………70人

〈9月、11月～1月、3月〉……………60人

〈2月〉……………50人

参加費

1回 1,000円

申込み方法

往復はがきに、講座名、参加を希望する回・月、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を記入の上、仙台文学館へお送りください。はがき1枚につき1人まで、申込み多数の場合は抽選となります。締切はそれぞれ必着。

講師

こいけ ひかる
小池 光 歌人

1947年宮城県柴田町生まれ。東北大学理学部大学院修了。1972年「短歌人会」に入会。第2代仙台文学館館長(2007年4月～2020年3月)。2011年、「山鳩集」で小野市詩歌文学賞を受賞。2012年、「うたの動物記」で日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。2013年春、紫綬褒章を受章。2016年、「思川の岸辺」で読売文学賞を受賞。2020年秋、旭日小綬章を受章。2022年、「サーバルと燕」で現代短歌大賞、詩歌文学館賞を受賞。評論集に「茂吉を読む 五十代五歌集」「石川啄木の百首」など。読売新聞、北國新聞などの歌壇選者をつとめる。

